

2016-B

VI72-B

拠出金・基金
の名称

北太平洋海洋科学機関拠出金

種 別

イヤマークのみ
 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】北太平洋海洋科学機関(PICES)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ/水産庁増殖推進部研究指導課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

- 1 聞き取り調査・漁場環境調査・複合養殖実験を実施し、里海型漁業管理マニュアルを作成。
- 2 ワークショップを開催し、マニュアルの普及及び地元研究者への能力開発を実施。
- 3 里海型漁業管理に関するデータベース及びネットワークを構築。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千カナダドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	6,498	67	-	1カナダドル= 97円	100%
平成27年度	7,445	75	-	1カナダドル= 99円	100%
平成26年度	7,854	84	-	1カナダドル= 94円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

環太平洋圏の開発途上国沿岸は生物多様性に富み、水生生物の再生産の場であり、我が国が公海等で漁獲する漁業資源にとっても重要な産卵・育成場である。しかし、近年、海洋環境が悪化し、水産資源の産卵・育成場の機能が低下する中、人手を加えることで漁業資源の持続的利用と生物多様性の保全を両立した「里海」型漁業管理システムが世界的な注目を浴びている。

そこで、PICESから、我が国を主体とする各国の専門家を途上国に派遣し、里海型漁業管理システムの導入に向けた聞き取り調査や複合養殖の実証試験等を行った。また、ワークショップやセミナーを通じて途上国研究者の能力開発を行ったほか、当該成果をマニュアル化・データベース化することで、我が国の「里海」の概念を広く普及した。本拠出金事業は、我が国にとって重要な途上国沿岸における漁場資源の持続的利用及び生物多様性の保全の実現に大きく貢献した。

【備考】